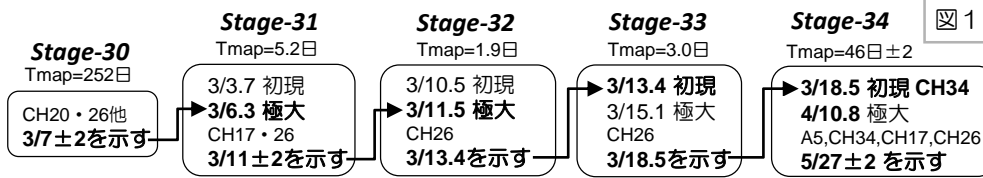


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりましたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

約17年11ヶ月継続となる No1778 長期継続前兆変動 続報

Stage-34 の A5・CH34 共に静穏化の可能性 → 5/27±2 発生の可能性有



※No1778は地震発生が推定された時期（通常の場合は地震発生）に次の変動の極大や初現が出現し次Stageに移行する現象が17年8ヶ月の間に30回続いた。数百日単位のStageが本年3月からは数日単位で同様な変化でしたが、Stage-34は46日±2となる可能性を示す模様。

Table with 3 columns: Stage-34, CH34/CH26/A5 observations, and predicted dates for stabilization and occurrence.

(BTS 変動=Baseline Thickness dominant Superposed Anomaly の略で、基線幅増大変動にウネリ変動が加算された変動です)

CH29-BTS 初現 5/3.4—極大 5/11.9 → 5/27±3

◆上記のCH29BTS変動はNo3659、No3660 観測情報で報告したNo1778 別形態変動です。HPでは未報告。

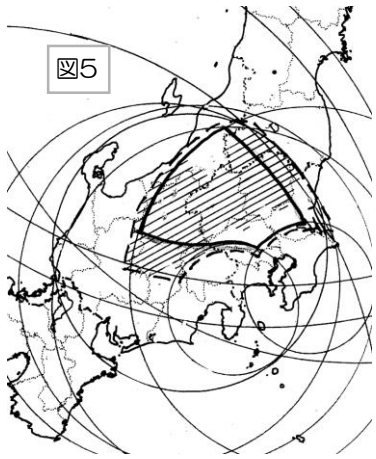
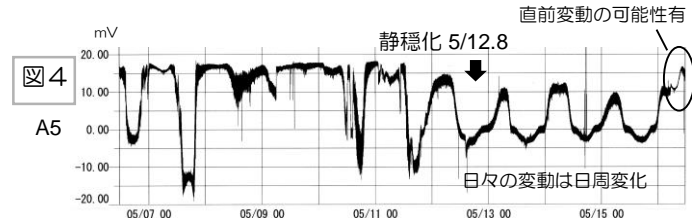
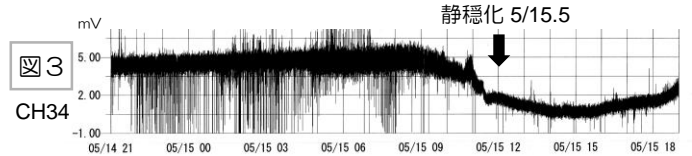
◆No1778長期継続前兆変動 Stage-34 のハヶ岳のCH34が右図3のとおり、5/15.5に静穏化しました。現在も細い直線基線を記録しています。極大4/10.8認識から、5/27±3 発生の可能性が示唆されます。

◆秋田観測点A5特異変動は、右図4のとおり、5/11は明らかに特異変動が現れていますが、5/12以降は特異変動はなく、日々の日周変化のみとなっています。このことから、5/12.8終息認識。極大4/3.5認識から、5/26±3 発生の可能性が示唆されます。

但し図4のA5基線の右端○印で示した部分は、明らかに特異変動です。仮に5/12.8終息認識が正しい場合は、○印部の変動は直前変動の可能性しか考えられません。

仮に直前変動の場合は 直前変動～発生=Tpaとしたとき、Tmap : Tpa = 6:1 経験則から、5/25.4発生の場合 =直前変動中心 5/16.7 5/26.4発生の場合 =直前変動中心 5/17.6 5/27.4発生の場合 =直前変動中心 5/18.4 が計算されます。直前変動である場合は、発生時期が絞れる可能性があります。仮にA5変動が長く継続する様な場合は、まだ静穏化前と判断し、再考します。

◆現状は考えやすい、5/27±2 を推定発生時期とします。



- 推定領域：図5の点線領域内=大枠推定領域 図5の太線領域内=可能性が考えやすい 図5の斜線領域=火山近傍が考えやすい

- 推定規模：M8.0±0.3 M7.7~8.0の可能性考えやすい または複合地震

複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で110~150km 程度となる様な複合地震活動の可能性 (例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等)

- 推定時期：2026年 5/27±2 (現状の最大誤差±3) ※A5の本日以降の変動が直前変動の場合は発生時期を絞り込み可能。長期継続する場合は静穏化前と判断し、再考

- 推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

- 推定発生時刻：8時30分±2 or 18時±3

(複合地震の場合は当てはまらない場合有)

※今後、噴火型変動が複数日観測された場合は、対応地震発生に伴い、震央に近い火山で噴火の可能性あり。現状は観測されておられません。